

ーリング・アンド・ファウンドリー・
コムパニー

回転炉

特公・昭39—23067 (公告・昭39—
10—16) 出願: 昭37—9—26, 発明:
トルステン・エクルンド, イングヴ
エ・ベングトソン, エロフ・フオル
グスベル, 出願: アルメンナ・スベ

ンスカ・エレクトリスカ・アクチボ
ラゲット

転 炉

特公・昭39—23068 (公告・昭39—
10—16) 出願: 昭38—6—24, 優先
権: 1962—7—6(ドイツ), 発明: フ
リッツ・ユストウス・ホフマン, 出
願: ベタイリグングス・ウント・パ

テントフェルウアルツングス・ゲゼ
ルシャフト・ミト・ベシュレンクテ
ル・ハフツング

圧力鑄造法

特公・昭39—23716 (公告・昭39—
10—23) 出願: 昭37—1—20, 特願:
昭37—1874の分割, 発明: 小栗逸朗
出願: 日本硝子株式会社

書 評

耐火物の手引

American Foundrymen's Society から Refractories manual 「耐火物の手引」と題する本が出版された。

J. Zotos を Chairman, 来日した J. P. Holt を Past Chairman とした総数 31 名の委員会により執筆編集されたもので、鑄物工業用耐火物に焦点をしばつて、耐火物全般について説明している。

第 1 章は「耐火物の基礎」と題し、耐火物の種類、耐火物の形状、歴史的発達、性質と挙動、相平衡データ、化学的侵蝕、溶融、外から加えられた或は耐火物中に発生した歪の響影、熱の伝導、耐火物の選択について述べている。

第 2 章は鑄物用耐火物の製造について粘土質を中心に珪石質、塩基性、目地なし耐火物などについて説明している。

第 3 章は耐火物の試験方法について、A.S.T.M. 法その他に準拠して、煉瓦のサンプリング、煉瓦の試験方法、キヤスタブル耐火物の試験方法について解説している。

第 4 章は耐火物の工事法について、モルタル、プラスチック耐火物、ランニング耐火物、ガン(gun)によるキューポラその他の炉の修理、煉瓦による築炉法、炉の乾燥法、加熱法などについて説明している。

第 5 章は本書にとりもつとも多くの頁数をさいている所で鑄鉄用耐火物、Side Blown Converters 用の耐火物、非鉄金属鑄造坩堝炉用耐火物、キューポラ炉内張りと修理、酸性キューポラ炉内張り、塩基性キューポラ炉内張り、中性キューポラ炉内張り、酸性アーク炉用耐火物、塩基性アーク炉用耐火物、間接式アーク炉用耐火物、高周波低周波炉用耐火物、open flam furnace 用耐火物、酸性平炉耐火物、塩基性平炉用耐火物、前炉用耐火物、取鍋用耐火物、鑄物工業用加熱炉耐火物などについて実用的見地から解説している。

第 6 章は耐火物の反応について、原因と結果につき、Al による鑄造中の非金属介在物について、耐火物と Al 含有鋼との間の反応、非金属介在物の原因としての耐火物について説明している。

第 7 章に耐火物用語の解説があり、最後に文献、索引がついている。

本書は実用的見地から鑄造工業用耐火物についてとりまとめたものである。(宗宮重行)

発行所 American Foundrymen's Soc. A 4 版 111 頁 価格 3,000 円

クリープ試験技術研究組合

欧米視察団報告書刊行について

クリープ試験技術研究組合(本会内)は昨年秋約 40 日にわたり、欧米におけるクリープおよび疲労の研究の現状を視察するため視察団(団長 平修二京大教授)を派遣いたしました。今回視察報告書が刊行されましたので、購読を希望される方は下記宛お申込み下さい。

記

1. 申込先 東京都千代田区丸ノ内 1-1 交通公社ビル 8 階 日本鉄鋼協会内
クリープ試験技術研究組合
2. 領 価 会 員 700円 (送料込み)
非会員 1000円
3. 申込方法 「クリープ視察団報告書」および送付先を明記、代金同封のうえ現金書留にてお申込み下さい。